

確かな学び・豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

中学校区におけるめざす子ども像 『自らを律し、自ら学び続ける子』
あらゆる教育活動を通して、学ぶことの楽しさを知る子どもを育てる。その実現に向け、4つの柱「学びに向かう力」「復習・学びなおし」「言語活動」「家庭学習」に重点的に取り組む。基礎的・基本的な知識・技能の習得を大切に、これらを活用して課題の解決に向けて思考力・判断力・表現力を働かせる場面を積み重ね、自ら学びに向かう児童生徒を育成する。

堺市立美原西小学校

校長 深見 俊英

令和7年度重点目標 合言葉『もったいい学校にしよう！』

- 1. 「総合的な学力」の育成 ～子どもの学力を伸ばす学校【知】
2. 豊かな心の育成 ～ポジティブな言葉があふれている学校【徳】
3. 健やかな体の育成 ～子どもが外で元気に遊ぶ学校【体】

確かな学びの現状
「自ら学ぼうとする子どもの育成」を研究テーマに据え、授業改善に取り組んでいるが、依然として基礎基本の定着に課題があり、また自主学習ノートへの取組も不十分である。
しかしながら、指導方法の工夫を積み重ねることで、課題に対し子ども自らが考え解決しようとする姿勢が見られるようになっていく。ICT活用についても、より有効な活用について職員の意識の高まりが見られ、個別最適な学びや協働的な学びの実現をめざし、引き続き取組を継続する。
豊かな心・健やかな体の現状
本校の強みである「たてわり活動(西小アップ)」「農芸高校等との連携」に加えて、「帯活動「チャレンジタイム」において、学級遊びや異学年交流などで達成感を味わう成功体験を通して自尊感情を醸成するとともに、仲間と協力してやりきる体験を通して人権感覚の向上や豊かな人間関係の構築をめざす。
チャレンジタイムで取り組む「リズムなわとび」「体幹トレーニング」や体育委員会主催の「逃走中」「ドッジボール大会」「なわとびカード」、たてわり活動と体力向上を絡めた活動の「大なわ大会」「西小サーキット」などを通して、体を動かすことの楽しさや気持ちよさを知り、外で元気に遊ぶ子どもを増やすことで、メリハリのある学校での生活習慣の確立する。

Table with 10 columns: 大項目, 中項目, 具体目標, 具体的な取組, 判断基準, 評価方法, 評価時期, 進捗確認, 達成状況(年度末) (自己評価, 学校関係者評価). Rows include '確かな学力向上', '豊かな心・健やかな体', and '地域協働'.

校長より(年度末)
合言葉『もったいい学校にしよう！』のもと、前例にとらわれずに教育活動の充実・効率化をめざし、「良いと思ったことはまずやってみる」を実践した一年でした。一人1台端末を有効に活用した授業改善による子どもたちの学習意欲の向上、外で元気に遊び伸びやかな声で歌を歌う屈託のない姿、互いを尊重し思いやるのが普通に行える良い心の習慣が形成されてきました。地域イベント『西のつどい』『グランドゴルフ大会』では、子どもたちが心から楽しむ姿を見ることができ本当にありがたく思います。

学校関係者評価者から(年度末)
一年間の取り組みを丁寧振り返り、次年度はより特色と深みのある小学校づくりを目指していくことが求められている。タブレットを活用した学習を進めるとともに、児童が自分の可能性を実感し、人間力を高めながら成功体験を積み重ねていくことが大切である。また、学力向上に向けた継続的な取り組みも欠かせない。さらに、地域との協働を一層深め、学校を中心としたつながりを広げていく姿勢が求められている。